

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

## 「子育て応援イベント『ばぶばぶフェスタ』」事業

### 子育て応援イベント「ばぶばぶフェスタ」開催と 子育て支援団体への「ばぶばぶ基金」の助成

「子育てに優しい地域づくり」は、一朝一夕でできるものではない。地域で支え合う雰囲気を醸成し、それをその時々で子育てに向き合う方々に届けていくかが課題である。子育て世代はもちろん、子どもと親、家族、そして地域のすべての人たちを対象に、楽しく学び、触れ合える機会をつくることを目的にしたイベントを佐賀県で開催した。



育児中の親や出産予定の方々を主な対象に、子ども・親・家族・地域が楽しく学び、触れ合えるイベント「ばぶばぶフェスタ」を開催



#### 地方の新聞社と行政機関が協力して 地域全体で子育て支援する雰囲気を醸成

少子化や核家族化が進み、地域コミュニティの様相なども変化するなかで、子育てに対する支援が大きな課題になっている。家庭や地域の「子育て力」が弱まり、子育て中の親の孤立が見られたり、近年は新型コロナウイルスの感染流行による不安、また「子育て罰」といった言葉が話題になったりするなど、子育てにかかる精神的、経済的な負担感から、出産を敬遠する傾向がさらに強くなっている。

2022年の国内合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子どもの数）は1.26となり、2005年と並んで過去4番目に低い数字となった。出生数も77万747人（前年比40,875人減）で、1899年の統計開始以来、初めて80万人を割り、少子化に歯止めがかからない状況となっている。

そうした状況のなかで、佐賀新聞社と佐賀県でつくる「佐賀県『ばぶばぶ』実行委員会」では、地域全体で子育て支援の雰囲気を醸成することを目的に、「子育て応援の店事業」や「ばぶばぶフェスタ」などの活動に取り組んでいる。「子育て応援の店事業」は、会員証を見せると、協力店で商品割引やドリンクサービス、菓子プレゼントなどの特典やサービスが受けられる。「ばぶばぶフェスタ」は、育児中の親や出産予定の方々を主な対象に、子ども・親・家族・地域が楽しく学び、触れ合えるイベントである。このイベントは2009年から実施してきたが、2019年以降は新型コロナウイルスの影響もあり、中止を余儀なくされた。しかし、2022年にはアフターコロナと呼ばれる社会的状況になったことを踏まえ、3年ぶりに復活したもので、2023年も前年を上回る規模で盛大に開催した。

#### 4,000人が来場した「ばぶばぶフェスタ」で 子育て支援団体への助成金贈呈も実施

佐賀市内のどん3の森、アバンセ（佐賀県立男女共同参画センター／佐賀県立生涯学習センター）などを会場に、11月5日に開催した「ばぶばぶフェスタ2023」では、すくすくゾーン（健康・育児）、ゆらゆらゾーン（胎教・情操教育）、にこにこゾーン（交流・体験）、どきどきゾーン（協賛社・団体）、ぱくぱくゾーン（飲食・物産）、ぶーぶーゾーン（働く自動車）、わくわくゾーン（アトラクション）を設け、様々な内容のイベントを行った。来場者は、約4,000人であった。

なかでも佐賀新聞社1階ギャラリーで行ったおゆずり会が、特に好評だった。これは先輩親子から後輩親子へ小さくなった衣類などを無償で贈るもので、多くの家族が衣類を提供してくれたため、120組の家族がそれぞれの家庭環境に合った衣類を受け取ることができた。地域の中で子育てを支え合う環境づくりを象徴する場となっており、実行委員会では今後も地域内での周知に努めていきたい



賞味期限切れに近い食品を提供してもらうフードドライブも定期的にも実施

と考えている。

昨年の「ばぶばぶフェスタ」では、「ばぶばぶ基金」の贈呈が復活したことも話題となった。この基金は佐賀県子育て応援自販機という清涼飲料水の自動販売機から売上金の一部を積み立てたものを原資に設立されたもので、そこから佐賀県内で子育て支援に取り組む団体やサークルに助成金を贈ってきた。復活した2023年は、10団体に各10万円、計100万円を贈呈した。イベントの一環として贈呈式を開催することができたことで、助成を受けた子育て支援団体同士の交流機会の創出や、地域の方々へ団体の活動内容を紹介する貴重な機会ともなった。

#### 佐賀県パチンコ・パチスロ店協同組合より

地元の新聞社と行政が中心となって開催している子育て支援イベントに協力することは、地域で事業を展開する遊技業界としても欠かせないことだと思っています。



#### 助成団体:佐賀県「ばぶばぶ」実行委員会

<https://www.saga-s.co.jp/feature/babu2festa>



#### 途絶えていた子育て支援の助成を復活することができました

今回、助成をいただいたことに、改めてお礼申し上げます。関係各位からの支援がありますものの、毎回、資金工面に難儀しているのが実情で、かつて立ち上げた「ばぶばぶ基金」も継続できずに途絶えていました。貴機構の助成で本基金が復活、多くの子育て支援団体の取り組みの充実につなげることができたのが、何より大きな喜びです。

佐賀県「ばぶばぶ」実行委員会  
佐賀新聞社東京支社営業部 山口 昌寛さん